



学校だより 9月特別号

昨年度より、本校では教職員が一丸となって、児童や保護者の皆様のみならず、地域の方や教職員等、「館野小にかかるすべての人々のウェルビーイングの実現」を目標に掲げ、教育活動に取り組んでおります。その中で、「学校に行くのが楽しい」「頑張っているところがある」に関する項目は。児童や保護者ともに90%を上回る結果となりました。また、「言葉づかい」に関する項目でもA評価（あてはまる）が大きく向上しました。今後も、自己肯定感・自己有用感が高まり、友達を思いやる優しい心が育てられるよう、教職員全員で努めて参ります。そして、学校ホームページや連絡メール等を活用し、学校の取組の様子やお知らせを日々積極的に発信していきます。

＜令和6年度保護者・児童アンケート（前期）結果より＞

学校・自己肯定感について

肯定的評価（あてはまる+だいたいあてはまる） 上段は今年度 下段は昨年度後期

		あてはまる	だいたいあてはまる	少しあてはまらない	あてはまらない	今年度	今後の取組
						昨年度後期	
保護者	お子さんは、学校に行くのが楽しいと感じている	52.5%	40.8%	4.8%	1.9%	93.3% 89.3%	「学校が楽しい」と言い切れる（「だいたい」ではなく）児童が、昨年度より増えています。今後も、児童一人一人の活躍できる場を提供し、学校が児童にとって安全で安心できる場所になるよう努めていきます。また、悩みや不安を抱えている児童には、相談しやすい環境づくりに配慮していきます。
	わたしは、学校が楽しい	59.4%	31.1%	6.9%	2.6%	90.5% 90.9%	
児童	わたしは、がんばっているところがあると思う（今年度の新項目）	55.8%	35.4%	7.8%	1.0%	91.2%	「頑張っているところがある」と自分で認識できている児童が多いです。例え結果が出ずとも、頑張っている姿そのものに価値があることを認め、励ましていきたいと考えています。そうすることで、児童の自己肯定感が高まり、自信がつき、活動への意欲が高まっていくと思います。どうか、ご家庭でも児童の頑張っている姿を見つけ、褒めてあげてください。
	わたしは、勉強に使うものを大事に使い、しっかり後片付けしている	69.6%	25.4%	3.8%	1.2%	95.0% 91.2%	

自己肯定感について

肯定的評価（あてはまる+だいたいあてはまる） 上段は今年度 下段は昨年度後期

		あてはまる	だいたいあてはまる	少しあてはまらない	あてはまらない	今年度	今後の取組
						昨年度後期	
保護者	お子さんは、「自分にはがんばっているところがある」と思っている（今年度の新項目）	58.8%	36.9%	3.8%	0.5%	95.7%	「頑張っているところがある」と自分で認識できている児童が多いです。例え結果が出ずとも、頑張っている姿そのものに価値があることを認め、励ましていきたいと考えています。そうすることで、児童の自己肯定感が高まり、自信がつき、活動への意欲が高まっていくと思います。どうか、ご家庭でも児童の頑張っている姿を見つけ、褒めてあげてください。
	わたしには、がんばっているところがあると思う（今年度の新項目）	55.8%	35.4%	7.8%	1.0%	91.2%	
児童	わたしは、勉強に使うものを大事に使い、しっかり後片付けしている	69.6%	25.4%	3.8%	1.2%	95.0% 91.2%	学習環境を整える意識が高まってきています。家庭でも物の使い方や環境を整えることについて丁寧に確認していただいているおかげです。今後も継続して物の大切さ、片付けの仕方を指導していきます。
	わたしは、友達と学び合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができている（今年度の新項目）	46.8%	38.5%	12.4%	2.4%	85.3%	

学習環境

肯定的評価（あてはまる+だいたいあてはまる） 上段は今年度 下段は昨年度後期

		あてはまる	だいたいあてはまる	少しあてはまらない	あてはまらない	今年度	今後の取組
						昨年度後期	
児童	わたしは、勉強に使うものを大事に使い、しっかり後片付けしている	69.6%	25.4%	3.8%	1.2%	95.0%	学習環境を整える意識が高まってきています。家庭でも物の使い方や環境を整えることについて丁寧に確認していただいているおかげです。今後も継続して物の大切さ、片付けの仕方を指導していきます。
	わたしは、友達と学び合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができている（今年度の新項目）	46.8%	38.5%	12.4%	2.4%	85.3%	

学習について

肯定的評価（あてはまる+だいたいあてはまる） 上段は今年度 下段は昨年度後期

		あてはまる	だいたいあてはまる	少しあてはまらない	あてはまらない	今年度	今後の取組
						昨年度後期	
保護者	お子さんは、学校の勉強を理解している	41.2%	41.2%	16.2%	1.5%	82.4% 86.3%	学校研究の主題を「すすんで学ぶ子」とし、児童の主体性が発揮される授業を目指しています。「主体的に学ぶための単元構想」と「学びが深まる手立ての工夫」を研究の重点として取り組んでいます。2学期からは、とくに児童が自己決定する場を大切にすることと、それぞれの児童の学びを見取り効果的な手立てができるようにICT等を活用することの取組を進めています。児童が「学びの主役は自分」という意識で、友達と学び合いながら考えを深めていけるよう働きかけていきます。
	わたしは、授業がよくわかる	41.3%	48.2%	9.3%	1.2%	89.5% 88.5%	
児童	わたしは、授業中、自分から進んで学習している（今年度の新項目）	41.6%	43.5%	12.6%	2.4%	85.1%	2学期からは、とくに児童が自己決定する場を大切にすることと、それぞれの児童の学びを見取り効果的な手立てができるようにICT等を活用することの取組を進めています。児童が「学びの主役は自分」という意識で、友達と学び合いながら考えを深めていけるよう働きかけていきます。
	わたしは、友達と学び合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができている（今年度の新項目）	46.8%	38.5%	12.4%	2.4%	85.3%	

あいさつについて

肯定的評価（あてはまる+だいたいあてはまる） 上段は今年度 下段は昨年度後期

		あてはまる	だいたいあてはまる	少しあてはまらない	あてはまらない	今年度	今後の取組
						昨年度後期	
保護者	お子さんは、気持ちのよいあいさつをする習慣が身についている	26.4%	51.6%	20.6%	1.4%	78.0% 78.8%	「私は、自分からあいさつをしている」の肯定的な回答が増えていました。学校では、朝のあいさつがとても素敵です。あいさつは「人とつながるため」のものであることを児童と確認をし、学校内でもあいさつができるように取り組んでいます。基本的な生活習慣を整え学校と家庭が連携して、児童の成長を支えていきましょう。
	お子さんは、帰宅時刻を守り、早寝早起きをしている	39.3%	40.5%	17.3%	2.9%	79.8% 80.0%	
児童	わたしは、自分からあいさつをしている	59.4%	30.2%	8.3%	2.1%	89.6% 85.3%	「私は、自分からあいさつをしている」の肯定的な回答が増えていました。学校では、朝のあいさつがとても素敵です。あいさつは「人とつながるため」のものであることを児童と確認をし、学校内でもあいさつができるように取り組んでいます。基本的な生活習慣を整え学校と家庭が連携して、児童の成長を支えていきましょう。
	わたしは、自分からあいさつをしている	59.4%	30.2%	8.3%	2.1%	89.6% 85.3%	

学校生活について

肯定的評価（あてはまる+だいたいあてはまる） 上段は今年度 下段は昨年度後期

		あてはまる	だいたいあてはまる	少しあてはまらない	あてはまらない	今年度	昨年度後期	今後の取組
保護者	児童							
お子さんは、正しい言葉づかいをし、相手のことを大切にしている	23.3%	58.5%	17.3%	1.0%	81.8%	82.9%	「相手を大切にした言葉づかい」について肯定的な評価が増えました。自分はもちろん、相手のこと（相手はどう感じるか、まわりの人は気持ちよく過ごせるかなど）を考えることができます。学校内での児童の「相手も自分も気持ちが良くなる言葉」を増やしていきたいと思います。	学校・学級をよりよくしようとする肯定的な評価が9割を超えていきます。自分がすべきことを責任を持って取り組み、やり切れるようにしていきます。また、高学年の活動が全校のお手本となるように支援していきます。
わたしは、友達を傷つける言葉を使わず、相手を大切にした言葉づかいをしている	57.7%	34.4%	5.2%	2.6%	92.1%	86.2%	「進んで体を動かす」ことについて、肯定的な評価が増えました。休み時間でも、天気の良い日は、運動場、カラースフルで元気に遊んでいる様子が多く見られます。体を動かして気持ちが良くなる体験を増やしていきたいです。また、体力アップに向けて、体育の時間に、持久走（3分間走）に取り組んでいます。委員会活動でも運動の習慣化の取組として、たちのっ子オリンピック（握力測定、ストラックアウト）を体育委員会が企画し、楽しく参加する児童の姿が見られました。	学校教育と家庭教育の力を合わせ、児童の学力向上に結び付けましょう。
わたしは、進んで係の仕事やたてわり活動に取り組んでいる	65.6%	29.0%	4.8%	0.7%	94.6%	95.5%	「話すこと、聞くこと」の問題は、理解している児童が多かったです。「読むこと、書くこと」の問題や「目的や意図に応じて自分の考えを書き表す」問題は、まだ十分理解しているとはいえませんでした。	「実験方法の理解」「道具の使い方（顕微鏡、メスシリンダー）」については、理解している児童が多かったです。「問題文の理解、質問に正しく答える」「事象から性質を考える（結果から考察する）」問題は、苦手と感じている児童が多いようです。また、漢字を正しく書けない間違いが多く見られました。

体づくり

肯定的評価（あてはまる+だいたいあてはまる） 上段は今年度 下段は昨年度後期

		あてはまる	だいたいあてはまる	少しあてはまらない	あてはまらない	今年度	昨年度後期	今後の取組
保護者	児童							
お子さんは、進んで体を動かそうとしている	54.4%	28.8%	12.7%	4.1%	83.2%	76.8%	「進んで体を動かす」ことについて、肯定的な評価が増えました。休み時間でも、天気の良い日は、運動場、カラースフルで元気に遊んでいる様子が多く見られます。体を動かして気持ちが良くなる体験を増やしていきたいです。また、体力アップに向けて、体育の時間に、持久走（3分間走）に取り組んでいます。委員会活動でも運動の習慣化の取組として、たちのっ子オリンピック（握力測定、ストラックアウト）を体育委員会が企画し、楽しく参加する児童の姿が見られました。	学校教育と家庭教育の力を合わせ、児童の学力向上に結び付けましょう。
わたしは、体育の授業や学校生活の中で、進んで体を動かしている	73.6%	20.9%	3.8%	1.7%	94.5%	91.8%	「話すこと、聞くこと」の問題は、理解している児童が多かったです。「読むこと、書くこと」の問題や「目的や意図に応じて自分の考えを書き表す」問題は、まだ十分理解しているとはいえませんでした。	「実験方法の理解」「道具の使い方（顕微鏡、メスシリンダー）」については、理解している児童が多かったです。「問題文の理解、質問に正しく答える」「事象から性質を考える（結果から考察する）」問題は、苦手と感じている児童が多いようです。また、漢字を正しく書けない間違いが多く見られました。
わたしは、学校以外の場でも、進んで体を動かしている（今年度の新項目）	64.1%	24.7%	7.8%	3.3%	88.8%	89.6%	「実験方法の理解」「道具の使い方（顕微鏡、メスシリンダー）」については、理解している児童が多かったです。「問題文の理解、質問に正しく答える」「事象から性質を考える（結果から考察する）」問題は、苦手と感じている児童が多いようです。また、漢字を正しく書けない間違いが多く見られました。	「話すこと、聞くこと」の問題は、理解している児童が多かったです。「読むこと、書くこと」の問題や「目的や意図に応じて自分の考えを書き表す」問題は、まだ十分理解しているとはいえませんでした。

安心・安全な学校づくり

肯定的評価（あてはまる+だいたいあてはまる） 上段は今年度 下段は昨年度後期

		あてはまる	だいたいあてはまる	少しあてはまらない	あてはまらない	今年度	昨年度後期	今後の取組
保護者	児童							
学校は、学校公開やお便りなど学校の生活が伝わる機会を作っている	59.6%	37.7%	2.2%	0.5%	97.3%	97.4%	ホームページを見てくださっている方が多く、学校の様子を伝えるひとつ的方法として活用されてと感じています。また、学校公開や参観日にもご参加いただき、ありがとうございます。2学期も引き続き、学校の様子をお知らせする機会を作っています。	集団生活において、人とのかかわり方は重要なスキルです。自分を大切にしながら、相手を思いやることの大切さも学ばなければなりません。学校では、児童と児童をつなぐ指導をしながら、ひとりひとりが安心して学校生活を送れるよう、個に寄り添った対応をしていきます。
先生は、お子さんに丁寧に対応している（今年度の新項目）	67.3%	30.8%	1.7%	0.2%	98.1%	98.1%	「実験方法の理解」「道具の使い方（顕微鏡、メスシリンダー）」については、理解している児童が多かったです。「問題文の理解、質問に正しく答える」「事象から性質を考える（結果から考察する）」問題は、苦手と感じている児童が多いようです。また、漢字を正しく書けない間違いが多く見られました。	「話すこと、聞くこと」の問題は、理解している児童が多かったです。「読むこと、書くこと」の問題や「目的や意図に応じて自分の考えを書き表す」問題は、まだ十分理解しているとはいえませんでした。
わたしは、友達の気持ちを考え、相手の嫌がることをしないで仲よく生活している	58.9%	33.3%	6.4%	1.4%	92.2%	89.6%	「実験方法の理解」「道具の使い方（顕微鏡、メスシリンダー）」については、理解している児童が多かったです。「問題文の理解、質問に正しく答える」「事象から性質を考える（結果から考察する）」問題は、苦手と感じている児童が多いようです。また、漢字を正しく書けない間違いが多く見られました。	「話すこと、聞くこと」の問題は、理解している児童が多かったです。「読むこと、書くこと」の問題や「目的や意図に応じて自分の考えを書き表す」問題は、まだ十分理解しているとはいえませんでした。

※3%以上プラスで  、3%以下マイナスで  3%未満は同等として標記していません。

<令和6年度「全国・学力学習状況調査」及び「県基礎学力調査」の結果について>

令和6年度「全国・学力学習状況調査」及び「県基礎学力調査」が4月に6年生と4年生を対象に行われ、国や県から本校の結果が返ってきましたので、その概要と今後の学力向上の取組方針をお知らせします。学校教育と家庭教育の力を合わせ、児童の学力向上に結び付けましょう。

全国学力・学習状況調査結果と分析	
6年 国語	「話すこと、聞くこと」の問題は、理解している児童が多かったです。「読むこと、書くこと」の問題や「目的や意図に応じて自分の考えを書き表す」問題は、まだ十分理解しているとはいえませんでした。
6年 算数	「図形（直径・円周の長さ・円周率の理解）（作図、展開図）」の問題は、理解している児童が多かったです。「少数の割り算」「道のり、速さ、時間」「表やグラフの読み取り（必要なデータの取り出し）」の問題は、まだ十分理解しているとはいえませんでした。

石川県基礎学力調査結果と分析	
6年 理科	「実験方法の理解」「道具の使い方（顕微鏡、メスシリンダー）」については、理解している児童が多かったです。「問題文の理解、質問に正しく答える」「事象から性質を考える（結果から考察する）」問題は、苦手と感じている児童が多いようです。また、漢字を正しく書けない間違いが多く見られました。
6年 社会	「石川県の特徴（土地、工業生産、気候）」については、概ね理解できていました。「地図帳の読み取り（縮尺、緯度・経度）」「六大陸、三大洋」「数の資料、複合したグラフを基に考察、表現」に関する問題については、まだ十分に理解しているとはいえませんでした。
6年 英語	「簡単な語句や基本的な表現を聞き取る」問題は、理解している児童が多かったです。「英文を聞いて、必要な情報を聞き取る」問題は、これからも繰り返し学習を重ねていく必要があります。また、アルファベットを正しく書く（正しい位置、形）ことも大切です。
4年 国語	「ローマ字」「漢字の読み書き」「話すこと」「聞くこと」に関する問題は、理解している児童が多かったです。「国語辞典の使い方」「筆順」「考えをまとめる」問題については、まだ十分に理解しているとはいえませんでした。
4年 算数	「基本的な四則計算」「分数の意味」「長方形の定義」に関する問題は、理解している児童が多かったです。「二次元表の数値の意味」「長さの単位換算」「二等辺三角形、正三角形、円の定義」に関する問題は、まだ十分理解しているとはいえませんでした。

上記の結果を踏まえ、どの学年においても、十分に理解できなかった分野において、重点的に指導していきます。

学校では、①次の時間の準備 ②チャイムスタート ③話し手を見て聴く を重点的に取り組んでいます。生活面では、1学期の「居場所づくり」に加え、2学期からは「絆づくり」に取り組んでいます。学習面では、児童主体の「チャレンジ探求型たちのスタイル」に取り組みます。ご家庭でもお子様の学習が充実できるよう、学習環境を整え、認め励ましの声をかけたり等のご協力をお願いします。